

第32回高齢者相互支援活動研修会の報告

実施日時・会場 令和6年2月14日 10:30~14:50 愛知県社会福祉会館

<報告内容>

(1) 主な日程

①講演「eスポーツの動向と新しいレクリエーションとしての活用」 (40分)

講師 コミュニティネットワークセンター 副本部長 澤崎 栄治 氏

(要旨)・eスポーツとは、「エレクトロニック・スポーツの略で、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称を指す。電子機器を使う娯楽や競技、スポーツなどのこと。

・eスポーツが注目される理由は、場所・時間・性別・季節・天候・障害・国籍等を問わない21世紀型の新スポーツだから。

※ 2026年 愛知・名古屋アジア競技大会でも正式種目になる。

・秋田県初 日本初のeスポーツのシニアプロチーム「マタギスナイバーズ」65歳以上を対象に選手を募集し、現在はジュニア選手{60~64歳}も含め、平均年齢は67歳{2023年2月現在}{孫にも一目置かれる存在}をスローガンに、発足以来変わらずプロプレイヤーを目指し、活動を続けています。

・新しいレクリエーションとしての活用例・・・「太鼓の達人」決定戦

①課題曲を決めて、地区ごとに、練習会と予選を開催

②地区代表を集め、達人決定戦を開催

③年2回程度{前期・後期}を行い、前後期達人による真・達人を決定

②体験会

・「太鼓の達人」:流れてくる曲に合わせてタイミングよく太鼓をたたくりズムゲーム。ルールがシンプルで初めての人でも楽しくプレイ可能です。

・「グランツーリスモ7」:世界中の存在する車でドライビングを仮想体験できるレーシングゲーム。

・「オセロクエスト」:世界中の人や友達、コンピューターと気楽におせるのオンライン対戦ができるゲーム。

・ぷよぷよeスポーツ:1992年発売で30年以上経った今でも人気のタイトルです。5色の「ぷよ」が2つ連なって落ちてくるので、同じ色を4